

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新千葉校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024 12月 10日		2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズに合った個別支援計画	保護者の方からのお話や相談内容を職員間で共有し、強みを生かしながら困り感にアプローチできるような支援プログラムを作成している。	成長と共に変化する困り感について、引き続き保護者の方から聞き取り、支援に取り入れていく。また、見直し時期に限らず、必要に応じて個別支援計画を見直ししていく。
2	固定化されない支援	・職員間で支援内容とその時のお子さんの様子を報告し合い、プログラムに少しずつステップアップを加えている。 ・お子さんの興味関心をもとに、既存の教材に手を加えて楽しみが持続できるようにしている。	・お子さんの成長や興味関心の変化に柔軟に対応し、必要に応じて個別支援計画を見直ししていく。 ・研修や事例検討会を通して知った他校舎での取り組み内容を自校舎でも取り入れていく。
3	お子さんについての保護者との共通理解	支援後のフィードバックの時間を有効に使い、支援報告だけでなく、ご家庭や園でのお子さんの様子を伝えてもらっている。	子育てサポートやペアレントトレーニングなど、ご家庭でも取り入れられる支援を提案していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域での他の子どもとの活動の機会	原則的に個別支援を提供しているため、他児を関わる機会が少ない。	日常的には難しいが、関りがある地域の保育園のイベントに積極的に参加させてもらい、交流の機会を作っていく。
2	定期的な情報の発信	利用に関する情報は毎月発信しているが、日々の支援の様子を伝えることができていない。	より安心してお子さんを預けてもらえるよう、事業所の様子や取り組みについて、HPやSNSを活用して情報発信していく。
3	特性に応じた専門性のある支援	入社歴の短い職員も在籍しており、専門性のある支援が常に提供できているとは言い難い。	社内研修はもとより、外部研修を積極的に受講するようにし、職員間の学び合いを重視していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きらり新千葉校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 11

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2	0	0	もう少し広いといいなと思う。	お子さまのニーズに合った十分なスペースを確保できるよう環境を整えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	2	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1	6		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	1	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0	行くときは「行きたくない」ということもあるが、行くと楽しそうにしている。	お子さんが楽しみにして通所できるよう、活動内容や活動後の「お楽しみの時間」を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1	0	0		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	きらり新千葉校					公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			パーテーションのねじのゆるみや、机やイスのぐらつきなど、安全面に普段から配慮します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で心地よく過ごせるよう、毎朝掃除を行い、清潔に保てるよう努めています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		今現在、第三者による外部評価の機会はないですが、実施された際は業務改善につなげていきたいです。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		委員会を設け、社内で定期的に研修を受講しています。			
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議を実施して、事業所内の職員の意見を反映させています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントと、日々の支援後に実施している、保護者への支援のフィードバックの際に、お子さんの近況についてお話を伺っています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	朝礼、夕礼等で、支援に関する情報共有を行い、活動プログラムの作成に活かしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	前回行った支援内容の確認や保護者からの意見、本日から予定の活動についての報告を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	終礼や翌日の朝礼で、支援の振り返りを行い、次回の支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援記録や簡易メモなどを基に、今後の支援の検証・改善に努めています。	記録が滞ることのないよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	個別支援計画の見直し時期に、モニタリング会議を実施して、意見交換を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援のニーズが生じた場合は、積極的に対応してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターに訪問し、関係作りから行っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	イベントを通して、保育園児との交流を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々の支援後のフィードバックの機会を通して、お子さんの状況や課題について伝え合っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部研修の案内を告知したり、職員が研修を受講し、直接保護者にペアレントトレーニングができるよう努めます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に丁寧な説明を心掛けています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からのニーズがあった場合は、事情所内で面談を実施しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者様からのニーズがあれば、開催を検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		日々の支援後のフィードバックの機会を通して、ご要望を伺っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		行事の案内や連絡等はLINEで行い、履歴を確認できるようにしています。急な連絡についても対応できるようにしています。	HPやSNSでの発信を敵的に行い、事業所の様子が分かりやすく伝わるよう努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の入った書類は、鍵付きの保管庫に収納し、取り扱いに留意しています。	個人名の入った書類が放置されていないか、職員間で留意してまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		開かれた事業所を目指し、地域の子どもたちと交流できるようなイベントを企画してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギーの有無を確認しています。	食事の提供はしていませんが、イベントでお菓子を出す場合は配慮してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成した安全計画を基に、支援を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		十分な周知はされていません。防災訓練を実施したタイミングで、掲示物を通して周知してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止に関する研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に事前に保護者に説明して支援を行っています。		